

フロリードF 注 200mg

【この薬は？】

販売名	フロリードF 注 200mg FLORID-F 200mg for Inj.
一般名	ミコナゾール Miconazole
含有量 (20ml 中)	日局 ミコナゾール 200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、深在性真菌症治療剤と呼ばれる治療薬です。
- ・この薬は、真菌の細胞膜及び細胞壁に作用して、真菌の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に、医療機関において使用されます。

**クリプトコックス、カンジダ、アスペルギルス、コクシジオイデスのうち本剤
感性菌による下記感染症**

真菌血症、肺真菌症、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にフロリードF注200mgに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・次の薬剤を使用している人：ワルファリンカリウム（ワーファリン）、ピモジド（オーラップ）、キニジン（キニジン硫酸塩）、トリアゾラム（ハルシオン）、シンバスタチン（リポバス）、アゼルニジピン（カルブロック）、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン（レザルタス配合錠）、ニソルジピン、プロナンセリン（ロナセン）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン配合錠）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、リバーロキサバン（イグザレルト）、アスナプレビル（スンベプラ）、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）、ルラシドン塩酸塩（ラツータ）
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・経口血糖降下剤（グリベンクラミド、グリクラジド、アセトヘキサミドなど）を使用している人
- ・本人または両親、兄弟に気管支喘息、発疹、蕁麻疹などのアレルギーを起こしやすい体質を持つ人
- ・過去に薬剤で過敏症のあった人
- ・肝臓、腎臓に障害のある人

○この薬には併用をしてはいけない薬や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。
- ・通常、成人の使用量および使用回数は次のとおりです。

[点滴静注の場合]

	初回	2回目以降
1回量	200mg	200～400mg
注射する回数	1日1～3回、点滴静注します。	

- ・30～60分以上かけて点滴します。
- ・髄膜炎の場合は、髄腔内注入を併用します。

〔髄腔内注入の場合〕

1回量	5～20mg
注射する回数	1日1回、1～7日ごとに髄腔内に注入します。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

不整脈（めまい、動悸（どうき）、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ）、痙攣（けいれん）（顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える）、下痢、および嘔吐（おうと）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬は、添加物としてポリオキシエチレン硬化ヒマシ油を含んでいます。ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油を含む薬で、ショックがあらわれたとの報告があるので、過去にアレルギーや過敏症の症状があらわれたことのある人は、そのことを医師に伝えてください。この薬を使用してショックの症状があらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
- この薬と経口血糖降下剤（グリベンクラミド、グリクラジド、アセトヘキサミドなど）を併用したときに、低血糖症状（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下）が報告されています。経口血糖降下剤を併用する場合は、血糖値や低血糖症状に注意し、低血糖症状があらわれたら、医師または薬剤師に相談してください。
- 授乳中の人は、授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック しょくく	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー あなふいらきしー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

重大な副作用	主な自覚症状
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
QT延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室性不整脈（心室性期外収縮、torsades de pointesを含む心室頻拍など） しんしつせいふせいみやく （しんしつせいきがいしゅうしゆく、トルサード・ド・ポアントをふくむしんしつひんぱくなど）	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う、脈がとぶ
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる、むくみ、出血しやすい、発熱、寒気、突然の高熱、出血が止まりにくい
頭部	めまい、意識の消失、気を失う
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	喉のかゆみ、吐き気、歯ぐきの出血、喉の痛み
胸部	動悸、息苦しい、胸の不快感、息切れ
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、脈がとぶ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、あおあざができる

部位	自覚症状
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	フロリードF注 200mg
形状	
色・性状	無色澄明の水性注射液

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ミコナゾール
添加物	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油 60、乳酸

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：持田製薬株式会社

(<http://www.mochida.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-189-722

受付時間：9:00～17:40

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)